学びのひろば旭

vol.37

旭市教育委員会
庶務課（☎55-5721）　生涯学習課（☎55-5727）
学校教育課（☎55-5724）　体育振興課（☎64-1132）

旭市・茅野市児童交流事業

旭市と長野県茅野市は、昭和49年から姉妹都市として42年間交流を深めてきました。

両市では、子どもたちの交流を通して相互の友好関係を深めようと、平成23年度から両市の児童が隔年ごとに訪問する「旭市・茅野市児童交流事業～山と海きずなをつなぐプロジェクト～」を行っています。

今年度、交流役として選ばれたのは、鶴巻小・滝郷小・嚶鳴小の４・５年生29人。８月２日から４日までの２泊３日の日程で、茅野市の八ヶ岳総合博物館や尖石（とがりいし）縄文考古館の見学、茅野市リーダースクラブとの交流、縄文文化体験学習、北八ヶ岳の自然体験学習を行いました。

北八ヶ岳での自然体験学習

貴重な蝶を見学する

八ヶ岳総合博物館では、高山蝶という貴重な蝶の標本が公開されており、その保護活動を知ることができました。館内のプラネタリウムでは、最新の宇宙・星空について学びました。子どもたちは宇宙のあまりの大きさに驚き、職員の解説に耳を傾けていました。

自然体験学習

尖石縄文考古館では、尖石遺跡の出土品をはじめ、国宝「土偶」（縄文のビーナスと仮面の女神）など、2,000点余りの考古資料を見学。古い時代の人々の生活に触れることができました。縄文文化体験学習では、粘土で土鈴づくりの体験をしました。北八ヶ岳の山麓では、ロープウエーから山岳風景を眺めたり、高山植物が群生する坪庭を散策したりして北八ヶ岳の自然を楽しみました。

茅野市リーダースクラブとの交流

レクリエーションを通じて互いを知り、ウオークラリーでは、森の中を「海の子」「山の子」の知恵を出し合いながらゴールを目指しました。夕飯は自分たちで火をおこし、汗をかきながらカレーライスを作りました。キャンプファイヤーでは、一生懸命練習したダンスを皆で楽しく踊ることができました。子どもたちの顔を見ると、とても満足そうで笑顔があふれていました。

今後も、両市の児童が交流を通して、互いの自然や歴史・文化を理解し、親睦と友情を深め、姉妹都市の一層の親善を図りたいと思います。

第3回 みんなの学校自慢

みんな仲良し 中和っ子

中和小６年

中和小は、旭市北部の小高い場所にあるので、教室からは干潟八万石の田んぼや飯岡灯台、旭中央病院まで見渡せます。また周囲は自然豊かで緑に囲まれていて、春はウグイス、夏はセミの声が聞こえ、オニヤンマが教室に入ってくることもあります。

学校の歴史は古く、今年で139年になり学校のシンボルのクスノキは樹齢約110年です。暑い日には、クスノキの下がとても涼しく気持ちがいいです。

全校児童は100人と少ないのですが、その分みんな仲良しです。休み時間には学年に関係なく、ドッジボールやサッカーなどをして遊んでいます。

給食はランチルームで全校がそろって食べています。みんなで楽しくおしゃべりしながら食べるとおいしいので、給食がほとんど残りません。

自慢の行事に「すずがね祭り」があります。全校で５月に田植えをし、９月に稲刈りを行います。11月にそのもち米で餅つきをして、つきたてのお餅を食べます。６年生が切った野菜でお雑煮を作り、地域の方々も招待して盛大に行われます。中和小の一番人気の行事です。

中和小は、勉強も行事も遊びも全校みんなで仲良く活動できるすてきな学校です。

「すずがね祭り」に向け、全校で稲刈り